

# □チヨーク を使つた 造形活動



チヨークとの出会いの演出からチヨークを使った制作活動の構築を通して、「みんなが好きになる図画工作科の授業」の一つのモデルを提示いたしましょう。

■ 須賀川市立西袋第一小学校 國井 伸行

■ 平成26年7月25日(金) 岩瀬地区小教研図工部会

# □チョークを使った造形活動

## 1 チョークで描く

チョークは、学校では身近な描画材です。そのため手に入りやすく、扱いやすいので、低学年から高学年まで使用することができます。さて、絵画の場合、チョークの用途は多様です。いわゆる「チョークアート」は、ブラックボードに油性のチョークを用いて描いた絵画です。レストランの入り口などで見かけることができます。また、図画工作科では、アスファルトにチョークで絵を描くなどの造形活動も実践されています。本会場に井田小学校の壁画の一部は、チョークで描かれています。

## 2 自画像を描こう

本日は、自画像を描きます。以下の4点が、ポイントになります。

### (1) 携帯電話で自分の顔を撮影する。

- 本日は鏡を持参していないので…児童の場合は、「鏡を見ながら」となります。

### (2) 顔をさわりながら描く(ポイント！)

- サッ・サッ・サッと描いてしまわないようにさせるための仕掛けです。一つ一つじっくり観察させながら描かせるためには、「よく見なさい！」だけではだめなのです。味のある線は、ゆっくり、ゆっくり描画材を動かしたときに生まれるからです。

### (3) クレパスのこげちゃ色で下書きなしに描く。

- 茶色は、オレンジ色に青色を混ぜるとできます。オレンジ色は、黄色と赤色を混ぜるとできます。こげ茶色は、茶色に黒を混ぜるとできますつまり、3原色と黒でできているので、大概の色と調和しやすいからです。
- なぜクレパスで描くのか。それは、あとでこすった時にチョークと混じらないからです。線が保たれ、色が濁らないことが重要です。また、クレパスは、太いので、様々な太さの線を描けるし、力加減で濃くも薄くも描けるのが魅力です。ペンではこうはいきません。また、太い線で描くことによって、自然と大きな絵を描くようになります。
- なぜ下書きをしないのか。高学年になるほど下書きをしたがりますが、下書きをしてその上をなぞった線は生きた線ではありません。生きた線を描かせるためです。どうしても心配な児童には、「絵に失敗などないこと」「消しゴムで修正ややり直しがきくこと」などを話してあげてください。

### (4) 鼻から描いて、隣へ、隣へとつなげていく。

- 実は顔を描くのは本当に難しいのです。目から描く人もいます。また、輪郭から描く人もいます。でも児童の場合は鼻から描くのが描きやすいでしょう。

### 3 制作例 (西袋一小6学年)



「一番出っばっていると  
ところから描くよ。  
よくさわってみて。」



「ここが大事! 鼻の  
穴がないと、息が吸  
えないよ。」



「鼻の隣はどこかな。さわってみ  
て! しわが見えたらそれも描いて  
おこう。」まつ毛は描かなくても  
いいよ。少女マンガになってしまう  
から。」



「下に行くよ。口を描く前  
によく見て! 何か線があ  
るよ。」…実はこの線が  
とても大事です。



「口は、よく見ると、  
下唇と、上唇の形が  
違うよ。」



「眉毛はどうなっているか  
な。さわってみて!!」「そ  
う。一本一本さらさらした  
毛を描くよ。」



「顔の輪郭はどうなっ  
ているかな。さわってみよ  
う。顎がとがっているね  
え。」



「耳を描こう。よく見  
ると線が、かくれて  
いるよ。」



「髪の毛は、どこから生えているのか  
な。一本一本描こう。」髪の毛で男の子に  
も女の子にもなるよ(男の子、女の子の  
描き方を示す。)



「首を描こう。長さは  
どうかな。」



「洋服を描こう。丸首とトレー  
ナーの描き方はこうだよ。」  
(黒板に示す。)



「もう一息だよ。」

### 3 チョークを粉にして色を塗ろう

「チョークで色を塗ろう。」

- チョークをカッターで削って、絵にふりかけ、手でこすります。。大胆に。丁寧にやるより白い部分が残った方がよいでしょう。。
- 最後にチョークを定着させるために、フィクサチーフ(スプレー)をかけます。



